

令和6年度 白井市総合防災訓練 実施報告書

令和6年度 白井市
総合防災訓練
防災は今日から、安心は未来へ

令和7年 **2月2日(日)**
9:00~12:30

会場 **白井総合公園**



訓練項目

主要訓練項目

- シェイクアウト訓練
- 人命救助訓練
- 避難者輸送訓練
- ライフライン復旧訓練
- 炊き出し訓練 など

防災体験

- VR体験
- 地震揺れ体験
- 救助犬とのふれあい体験
- 電気自動車デモ展示 など

炊き出しカレー
の配布もあるぞ!

活動車両も
集結!

主催：白井市
問い合わせ：白井市総務部危機管理課
電話：047-492-1111
FAX：047-491-3554

日時：令和7年2月2日(日) 9:00~12:30

場所：白井総合公園【小雨(1~2mm/h)・気温3~4℃での訓練実施】

白井市

令和6年度 白井市総合防災訓練 実施報告書 目次

1	目 的	2
2	時 期	2
3	訓 練 会 場	2
4	訓練対象地域	2
5	訓練想定地震・被害想定	2
6	訓練の重点等	2
7	訓練組織体制	2
8	訓練項目・内容	2
	【訓練会場外・市内全域での訓練】	2
	【訓練会場における訓練】	3
9	参加関係機関・団体	6
10	訓練参加者数	7
11	訓練参加者アンケート結果	7
12	実 施 状 況	7
	【調整会議等】	7～8
	【事前広報】	9
	【会場レイアウト】	10～11
	【会場配布パンフレット】	12
13	訓練の評価・課題等	13～14

※総合防災訓練アンケート集計結果

(一般・中学生・小学生高学年・低学年) 別 添

1 目的

地域防災計画に基づき、白井市と防災関係機関・団体及び地域と連携した災害応急対策訓練（情報の伝達・広報、被害情報の収集・伝達～人命救助～災害医療活動～ライフライン復旧訓練等）を行い、防災対策の充実・強化に資するとともに、市民の防災意識の高揚と減災への備えを図るため、自由に体験・見学ができる防災啓発の場を設け、自助・共助・公助の繋がりを強化し、地域防災力を向上させる。

2 時期

令和7年2月2日（日）9：00～12：30

3 訓練会場

白井総合公園

4 訓練対象地域

白井第二小学校区

5 訓練想定地震・被害想定〔 〕数は白井第二小学校区

- (1) 地震の規模：千葉県北西部を震源・白井市直下 震度6強
- (2) 家屋の倒壊：全壊472棟〔172〕半壊1,667棟〔511〕
- (3) 人的被害：死者32人〔12〕負傷者315（内重症者39人）〔負傷者101（内重症者14）〕
- (4) 避難者数（最大）：14,235人（内避難所：5,694）〔848人（内避難所：339）〕

6 訓練の重点等

- (1) 一連の状況下で、市と自衛隊、消防、警察、指定公共機関及び団体との相互連携【公助】と、自主防災組織（自治会）と消防団等との連携【共助】による『発災対応型の連携訓練』を実施
- (2) 災害対策本部運営訓練及び救護本部活動訓練の場として、訓練会場に災害対策本部・救護本部を設置し運営・活動訓練を行う。
- (3) 全市民を対象として【自助】の基本である地震発生時の身を守る。
シェイクアウト訓練、家庭の地震対策自己診断を実施
- (4) 防災啓発は「全市民参加型」の自由に体験・見学等ができる防災フェスタ形式で実施
- (5) 訓練協力は、「白井第二小学校区みどりの里づくり協議会」とし、白井中学校と白井第二小学校の生徒・児童に防災教育の一環として訓練参加を調整する。

7 訓練組織体制

- (1) 白井市地域防災計画「災害対策本部事務分掌」に基づく組織体制を基本とし、全庁体制で組織編制
- (2) 「訓練統括責任者」として危機管理監を指定、訓練全般指揮・統制
- (3) 参加関係機関・団体、学校等：38団体

8 訓練項目・内容

【訓練会場外・市内全域での訓練】

- (1) 家庭の地震対策自己診断【自助】
「広報しろい（2月号）」に掲載した『備え10項目チェックリスト』に基づき家庭の地震対策自己診断を2月1日（土）までに実施
- (2) 地震発生時の対応訓練【自助・公助】 9：00～9：30
ア 情報伝達からシェイクアウト訓練 9：00～9：05
Jアラート（防災行政無線、しろいメール配信サービス等）による緊急地震速報（大地震発生情報）を配信、配信後にシェイクアウト訓練音声を放送し、市民がその時点・場所で一斉に身の安全を確保する動作を実施
イ 地震情報の伝達・広報訓練 9：10～9：30
市、印西地区消防組合、印西警察署の広報車両による地震情報の巡回伝達・広報を白井第二小学校区地域で実施
- (3) 避難者輸送訓練
往路 9：10～9：40 復路 12：20～13：00
ア 感染症対応における指定避難所の収容数は、避難者の間隔2m保持が必要とされ、1／3に減少したことから、他の避難所に移送する訓練を実施
イ 陸上自衛隊第1空挺団第1普通科大隊の車両支援及び市借上げマイクロバスを使用して、市避難所担当職員（白井中学校生徒）及び自治会等と連携した避難者輸送訓練を実施
ウ 輸送区分（各避難所⇄白井総合公園）
 - ・白井第二小学校（31名：自衛隊車両4台、借上げバス1台）
 - ・白井中学校（20名：自衛隊車両3台）
 - ・延命寺（15名：自衛隊車両1台、借上げバス1台）

【訓練会場における訓練】※防災啓発は 9:05～

(1) シェイクアウト訓練【自助】 9:00～9:05

訓練会場で音声テープに合わせ、訓練会場の全員が一斉に身の安全を確保する動作を訓練



提供：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議



(2)
災害対策本部・救護本部運営訓練
(現地設置)
【公助】

10:00～11:30

白井市災害対策本部運営訓練

- ・訓練会場に災害対策本部を設置し、災害対策本部事務局及び関係機関等の連絡員が参加し実施
- ・運営訓練は、市災害対策本部事務局、陸上自衛隊第1空挺団第1普通科大隊、印西地区消防組合等が参加



(3) 白井市救護本部活動訓練

- ア 訓練会場に救護本部を設置し、救護本部及び医師会等の医療機関が参加
イ 運営訓練は、市救護本部、印旛市郡医師会等が参加



(4) 被害情報の収集・伝達訓練【公助・共助】 10:00~10:20

関係機関（陸上自衛隊第1空挺団第1普通科大隊、印西警察署、印西地区消防組合、東日本電信電話(株)千葉災害対策室、白井郵便局、(株)ネクスト、中区・平塚西区自治会・市議会災害等対策委員会）から市内の被害情報の収集とその結果を災害対策本部へ伝達を実施



(5) 人命救助訓練【公助・共助】 10:20~10:50

被害情報に基づき、市災害対策本部は関係機関と調整し、市災害対策本部からの指令により、陸上自衛隊第1空挺団第1普通科大隊、印西地区消防組合、日本救助犬協会（TEAM7）、首都圏防災士連絡会、消防団、中区・平塚西区自治会（白井中学校生徒3人含む。）による人命救助・救出訓練（倒壊家屋からの救助、孤立者の救助、負傷者の救出）を実施



(6) 災害医療活動訓練【公助】 10:35~11:00

ア 人命救助訓練と連携した災害医療活動訓練を実施

イ 印西地区消防組合が現地応急救護所を開設し、市救護本部、印旛市郡医師会等の医療関係機関及び消防組合、陸上自衛隊第1空挺団第1普通科大隊と連携したトリアージ～応急救護～重症患者の搬送を実施



(7) ライフライン復旧訓練【公助】 11:00~11:30

公共機関及び災害協力応援協定事業所と連携した、ガス（京葉瓦斯船橋支社、千葉県LPガス協会船橋支部）、水道（市上下水道課）、倒壊家屋の撤去（大月工業(株)・道路課）によるライフライン復旧訓練を実施



(8) 炊き出し・給食支援訓練【公助・共助】 8:30~12:20

- ア 市と陸上自衛隊第1空挺団第1普通科大隊、白井市赤十字奉仕団、白井中学校生徒の協同で810食のカレーライス等を作成し、参加者に配食を実施
- イ 炊き出し会場に「アルファ化米の作成・試食体験コーナー」(300食分)を設置し、白井中学校生徒主導による作成・試食体験を実施
- ウ 炊き出し・給食支援訓練に必要な具材、資器材等を、JA西印旛農業協同組合(米)、(株)山屋食品千葉、千葉県LPガス協会船橋支部(炊き出し用ガス)、陸上自衛隊第1空挺団第1普通科大隊(炊事車、水トレーラー等)から提供・支援いただき実施



(9) 防災啓発【自助】 9:00~12:20 ※講評時除く。

訓練会場内において、関係機関・団体及び災害協力応援協定事業所による災害時の活動車両等の展示、体験型の防災啓発・防災啓発ブースを展開し、参加者が体験・啓発できる防災フェスタ形式による防災啓発を実施

ア 活動車両啓発

陸上自衛隊第1空挺団第1普通科大隊、京葉瓦斯船橋支社、千葉県LPガス協会船橋支部、市(上下水道課)、大月工業(株)、白井郵便局、印西警察署、印西地区消防組合による災害時活動車両を訓練会場内に展開し、啓発教育を実施

イ 防災体験啓発

日本救助犬協会(TEAM7)、首都圏防災士連絡会、(株)ネクセライズ、千葉県印旛地域振興事務所、東日本電信電話(株)千葉事業部、市社会福祉協議会、千葉県助産師会、印西地区消防組合、市消防団による、災害時の各種体験コーナーを訓練会場内に設置し、体験型の啓発教育を実施

ウ 防災啓発ブース

市(建築宅地課、環境課、課税課、収税課、上下水道課)、白井郵便局、生活協同組合コープみらい千葉県本部、千葉三菱コルト自動車販売(株)、東日本電信電話(株)千葉事業部、(株)NTTドコモ、ソフトバンク(株)、大塚製薬(株)千葉出張所、京葉瓦斯(株)船橋支社、千葉県LPガス協会船橋支部、(株)伊藤園八千代支店、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、ガイドードリンコ(株)千葉オフィス、(株)ネクスト、大塚食品(株)、東京電力パワーグリッド(株)東葛支社、陸上自衛隊第1空挺団第1普通科大隊、自衛隊千葉地方協力本部柏事務所による、自由に見学ができる防災啓発ブース及びライフライン復旧状況を会場内に展開展示して防災啓発を実施



- (10) 訓練の視察 9:05~9:55
市長及び来賓による訓練会場の視察を実施



- (11) 訓練講評 11:40~12:00
市長の訓練講評、白井中学校生徒による訓練感想発表等を実施



- (12) 配食・喫食 11:40~12:20
カレーライス(中辛・子ども用)、ハヤシライス(800食分)を配食喫食

9 参加関係機関・団体

参加関係機関等一覧

防衛省 陸上自衛隊 第1空挺団 第1普通科大隊	(株)ネクスト
防衛省 自衛隊千葉地方協力本部 柏募集案内所	(株)ドコモCS 千葉支店
千葉県印旛地域振興事務所	ソフトバンク(株)
千葉県印西警察署	JA西印旛農業協同組合
印西地区消防組合	生活協同組合コープみらい 千葉県本部
白井市議会	社会福祉法人 白井市社会福祉協議会
NPO法人 日本救助犬協会(Team 7)	日本赤十字社千葉県支部 白井市赤十字奉仕団
一般社団法人 千葉県助産師会	(株)伊藤園 八千代支店
公益社団法人 印旛市郡医師会 白井地区医師会	ダイドードリンコ(株) 千葉オフィス
特定非営利活動法人(NPO) 首都圏防災士連絡会	コカ・コーラボトラーズジャパン(株) 千葉中央支店
東日本電信電話(株) 千葉事業部 千葉支店	大塚製薬(株) 千葉出張所
東京電力パワーグリッド(株) 東葛支社	大塚食品(株)
千葉三菱コルト自動車販売(株) 千葉ニュータウン店	延命寺
千葉県LPガス協会 船橋支部	白井第二小学校区:平塚西区自治会・中区
京葉ガス(株) 船橋支社	白井第二小学校区 みどりの里づくり協議会
日本郵便(株) 白井郵便局	白井中学校
(株)ネクセライズ	白井第二小学校
大月工業(株)	白井第一小学校
山屋食品(株) 千葉店	白井市(消防団:第三分団)

38 関係機関等(順不同)

10 訓練参加者・来場者数

総合防災訓練 811名

訓練対象地域（白井第二小学校区）130名、白井中学校生徒29名、参加関係機関・団体230名、一般参加230名、市職員113名、消防団20名、招待者（来賓）11名、案内者31名、市議会議員17名

11 訓練参加者アンケート結果

（一般、中学生、小学生 高学年、小学生 低学年）

※アンケート回収数（人数）

一般 46名、中学生 6名、小学生（高学年） 4名、小学生（低学年） 3名

12 実施状況

《調整会議等》

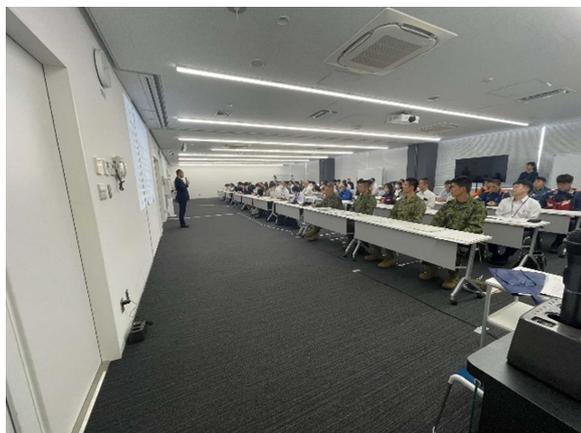
・令和6年5月9日 白井市役所災害対策室 市全庁説明会（参加部・課）



・令和6年9月20日 白井公民センター 第1回 小学校区まちづくり協議会調整会議



・令和6年10月17日 白井市役所 災害対策室 第1回 訓練調整会議（訓練計画説明・調整）



- 令和6年10月25日 白井中学校 白井中学校全校説明会



- 令和6年11月29日 白井公民センター 第2回 小学校区まちづくり協議会調整会議
- 令和6年12月16日 白井市役所 災害対策室 応援職員等説明会



- 令和7年1月9日 白井市役所 災害対策室 第2回 訓練調整会議（最終調整・図上全体予行）



- 令和7年1月10日 白井中学校 参加者説明会



《事前広報》

- ・ポスターを作成し、市内小中学校や各センター、コンビニエンスストア等に掲示（表紙参照）
- ・広報しろい（1月号）での特集記事

防災は今日から、安心は未来へ！
総合防災訓練に参加しよう 図信機管理課 ☎ 401-4650

市民・事業者・関係機関と連携し、震度6強の地震を想定した、地震発生から応急復旧までの一連の訓練および市民参加型の防災啓発を行う最大規模の総合防災訓練を実施します。参加者には、先着600人に啓発品（IoT米・アルファ化米など）を配布します。

2月2日(日) 9:00～12:30
 ※総合防災訓練開催のため、当日は文化センター全館を臨時休館します。

白井総合公園

■防災体験 災害VR体験、地震揺れ体験、救助犬とのふれあい体験、簡易トイレ組立体験、災害時の子育て体験、初期消火体験、けむり体験、消防車両、自衛隊車両、警察車両、電気自動車デモ展示など

■主な訓練の流れ(予定) 9:00 ▶地震発生・シェイクアウト訓練、9:05 ▶防災行政無線、緊急地震速報、9:10 ▶避難者輸送訓練（対象地域：白井第二小学校区）10:20 ▶人命救助訓練、10:30 ▶災害医療活動、11:00 ▶ライフライン復旧訓練、12:00 ▶炊き出し訓練（カレーライス・ハヤシライス無料配布）

■しろいメール配信サービス・公式SNSに登録を災害が発生したときには、正しい情報をいち早く知ることが大切です。ぜひ利用してください。訓練当日には、地震発生時の対応訓練として、防災行政無線の訓練放送、しろいメール配信サービス・市公式LINE・Xで訓練情報を発信しますので、実際の災害情報と間違えないよう注意してください。

メール配信サービス  市公式LINE  市公式X 

令和7年白井市消防出初式
 消防活動に尽力した団員・職員への表彰のほか、屋外では消防車両が展示されます。

1月19日(日) 10:00～11:30
 文化会館なし坊ホール





・広報しろい（2月号）での特集記事

2月2日(日)は総合防災訓練 自宅からでも参加しよう！

総合防災訓練
 2月2日(日) 9:00～12:30
 ※当日は文化センター 全館を臨時休館します。

白井総合公園

9:00に防災行政無線で大地震発生の訓練をお知らせします。震度6強の地震をイメージしながら、自己身の安全確保行動（シェイクアウト訓練）を行ってください。

消防・警察・自衛隊や災害協定を結んでいる事業者など38の関係機関団体が連携し、各種訓練を行うほか、炊き出し訓練や、自由に体験・見学ができる防災啓発も行い、参加者には先着600人に啓発品（IoT米・アルファ化米など）を配布します。

■シェイクアウト訓練
 地震の際の安全確保行動「1 2 3」を身につける訓練です。地震が発生したら、その場で「まずひくく（DROP）・あたまをまもり（COVER）・うごかない（HOLD ON）」を1分間とってください。

防災訓練の前に、チェックリストでご家庭の地震対策について自己診断してみましょう。自己診断により、できていると感ずけていても不足していた物資や、まったく想定していなかった項目に気づけるかもしれません。

■ 備え 10 項目チェックリスト

<input type="checkbox"/> 家の耐震と家具家電・食器棚などは固定	<input type="checkbox"/> 最低3日分の非常食・水を自宅に備蓄
<input type="checkbox"/> ガラス飛散防止フィルムを貼る	<input type="checkbox"/> 常備薬は最低1週間分を準備
<input type="checkbox"/> 懐中電灯・警笛・スリッパ（靴）を寝室に常備	<input type="checkbox"/> 避難経路（昼・夜）を自分で歩いて確認
<input type="checkbox"/> 感染予防品を含む非常持ち出し袋（防災リュック）を準備	<input type="checkbox"/> 家族の連絡方法と合流場所を決めておく
<input type="checkbox"/> ラジオと携帯電話は予備電池まで準備	<input type="checkbox"/> しろいメール配信サービスに登録する




市最大規模！新たな総合防災訓練の見どころをピックアップ

<p>実動訓練</p> <p>一連の状況下において、市と自衛隊、消防、警察、防災関係機関・団体などと主要防災組織（自治会）や消防団が連携し、被害情報の収集・伝達から人命救助、災害医療活動、ライフラインの復旧までの「防災対応型」の連携訓練を行います。</p> 	<p>体験啓発ブース</p> <p>関係機関などの8団体が、各種体験啓発ブースを併設します。主な内容▶救助犬とのふれあい、地震揺れ体験、応急救助・救急・手当体験、簡易トイレ組立体験、VR体験（地震・津波・豪雨）、DX災害ボランティアセンター、災害時の子育て体験（疑似体験）、救急救命講習、水消火器体験、進体験</p> 	<p>防災啓発ブース</p> <p>関係機関などの19団体が、各種防災啓発ブースを併設します。また、災害時に活動するはしご車や各種自衛隊車両などを見学することができます。主な内容▶耐震診断・応急応復判定、電気計測・市機災害時特別協賛、ロ・リングストック、マルママネージャー、災害用伝言板、ガスの安心啓蒙、飲料水等の紹介、災害対応自動販売機の紹介、感震ブレーカー、災害派遣活動啓発教材及び広報、災害派遣活動広報（パネル・DVD）</p> 
---	--	--

炊き出し訓練では、カレーライス・ハヤシライスの配給（無料）も行います。2月2日(日)はぜひ白井総合公園にお越しください！

災害時におけるキャンピングカーの支援に関する協定を締結

12月24日、株式会社インバウンドプラットフォームと災害時におけるキャンピングカーの支援に関する協定を締結しました。太陽光発電や蓄電機能などを備えたキャンピングカーの活用については、令和6年能登半島地震の被災地でも、全国からの応援隊員の宿泊施設や休憩場所、特に女性への配慮として多大な効果を発揮しました。災害時応援協定の詳細は市ホームページで確認してください。

図信機管理課 ☎ 401-4650





防災啓発訓練：啓発ブース

9:00～12:30

テント数×5

テント	No	啓発内容	機関・団体、事業所等
①	1	耐震診断・応急危険度判定等	市 建築宅地課
	2	災害廃棄物・災害ゴミの処理等	市 環境課
②	3	罹災証明・市税災害時特別措置等	市 課税課・収税課
	4	被災地での活動報告、ミニボス紹介	白井郵便局
③	5	ローリングストック等	生活協同組合コープみらい千葉県本部
	6	電動自動車展示・給電デモ等	千葉三菱コルト自動車販売(株)
④	7	マルチマネージャー・Wi-Fi・衛星電話、伝言ダイヤル「171」等	東日本電信電話(株)千葉事業部
	8		(株)NTTドコモ
⑤	9	災害用伝言板・充電キット等	ソフトバンク(株)
	10	カロリーメイト等紹介、サンプル配布等	大塚製薬 千葉出張所

防災啓発訓練：啓発ブース

9:00~12:30

テント数×4

テント	No	啓発内容	機関・団体、事業所等
⑥	11	ガスの安心啓蒙、マイコンメーター体験等	京葉ガス(株) 船橋支社
	12	LPガス安全機器の展示等	千葉県LPガス協会 船橋支部
⑦	13	飲料水等の紹介	(株)伊藤園 八千代店
	14	飲料水の提供等	コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
⑧	15	災害対応自動販売機の紹介等	ダイドードリンコ(株)千葉オフィス
	16	レトルト食品、飲料のローリングストック等	大塚食品(株)
⑨	17	感震ブレーカー、EV車等	東京電力パワーグリッド(株)東葛支社

防災啓発訓練：体験型啓発

9:00~12:30

テント数×8

	参加機関等	体験啓発内容	備考
①	日本救助犬協会 TEAM7	救助犬とのふれあい、災害時のペット・愛犬お悩みコーナー、活動パネル展示等	テント×1
② ③	首都圏 防災士連絡会	地震揺れ体験、応急救助・搬送・手当の体験、ロープワーク・防災グッズ作成体験等	テント×2 起震車スペース(ゴムマット4)
④	(株)ネクセライズ	簡易トイレ組立体験・避難所運営キッド等	テント×1
⑤	県印旛振興事務所	VR体験(地震・津波・豪雨)	テント×1
⑥	市社会福祉協議会	DX災害ボランティアセンター等	テント×1
⑦	千葉県助産師会	災害時の子育て体験(疑似体験)	テント×1
⑧	印西消防組合	救急講習	テント×1、訓練用ダミー式
⑨ ⑩	市消防団:第3分団 (平塚東部・平塚西部・中部)	水消火器体験 煙体験	水消火器×10・エアークンプレッサー・煙ハウス一式

《会場配布パンフレット》

令和6年度白井市総合防災訓練 会場マップ・催し一覧

カレーの無料配布があるよ!

赤線：立入禁止

- 案内パンフレット、啓発品等配布
- 炊き出し訓練
レトルトカレー炊き出し(12:00~アルファ化米作成体験)
- 来賓・本部テント
来賓席、障がい者用テント
市災害対策本部事務局
市救護本部
市議会災害隊等対応会議

防災啓発ブース

- ①耐震診断・応急危険度判定等
災害廃棄物・災害ゴミの処理等
- ②罹災証明・市税災害時特別措置等
被災地での活動報告、ミニバス紹介
- ③ローリングストック等
電動自動車展示・給電デモ等
- ④マルチマネージャー・Wi-Fi・衛星電話・伝言ダイヤル「17」等
- ⑤災害用伝言板・充電キット等
カロリーメイト等照会・サンプル配布等
- ⑥ガスの安心啓蒙・マイコンメーター体験等
LPガス安全機器
- ⑦飲料水等の紹介・飲料水の提供等
災害対応自動販売機の紹介等
- ⑧食料のローリングストック、レトルト食品
⑨感震ブレーカー、EV車等
- ⑩災害派遣活動資機材及び広報等
- ⑪災害派遣活動広報
(パネル・DVD)、
速報等

活動車両展示

- 通信レスキュー隊車両(災害特別支援隊バイク、広域支援車、衛星通信移動無線車)
- 軽装甲機動車、高機動車、偵察用オートバイク
- 高所作業車、電源車、電力緊急工作車
- ガス供給管修繕車両
- LPガス自動車
- 給水車
- 道路啓閉重機(ユニック)
- 出張郵便局(ミニバス)、配達バイク
- 移動交番、高性能救助車(ウニモグ)、
交番バイク
- はしご付消防車、救助工作車、指揮車、救急車

体験啓発ブース

- ①救助犬とのふれあい・災害時のペット・愛犬お悩みコーナー
- ②③地震揺れ体験、応急救助・搬送・手当の体験、
ロープワーク・防災グッズ作成体験等
- ④簡易トイレ組立体験・避難所運営キット等
- ⑤VR体験(地震・津波・豪雨)
- ⑥DX災害ボランティアセンター
- ⑦災害時の子育て体験(疑似体験)
- ⑧救命講習
- ⑨水消火器体験
- ⑩煙体験

プログラム	
シェイクアウト訓練	9:00~9:05
地震情報の伝達・広報訓練	9:10~9:30
避難者輸送訓練	(往路) 9:10~9:40 (復路) 12:40~13:10
白井市災害対策本部運営訓練 白井市救護本部活動訓練	10:00~11:30
被害情報の収集・伝達訓練	10:00~10:20
人命救助訓練	10:20~10:50
災害医療活動訓練	10:35~11:00
応急対策：ライフライン復旧訓練	11:00~11:30
民生支援訓練：炊き出し・給食支援訓練	8:30~12:30
体験型防災啓発訓練	
①救助犬とのふれあい・災害時の ペット・愛犬お悩みコーナー	9:00~11:45
②地震揺れ体験、応急救助・搬 送・手当の体験、ロープワーク、防 災グッズ作成体験等	12:00~12:30
③簡易トイレ組立体験・避難所運営キ ット等	
④VR体験(地震・津波・豪雨)	
⑤DX災害訓練(ワイヤレス等)	
⑥災害時の子育て体験(疑似体 験)	
⑦救命講習	
訓練講評等	12:00~12:30

左の番号は裏面の
体験型啓発
ブースの番号と
なっているよ!

啓発品をプレゼント

- ### 協力
- ★防衛省 陸上自衛隊 第1空挺団 第1普通科大隊
 - ★防衛省 自衛隊千葉地方協力本部 柏幕営業内所
 - ★千葉県印旛地域振興事務所
 - ★千葉県印旛安楽署
 - ★印旛地区消防組合
 - ★白井市議会
 - ★NPO法人 日本救助犬協会(Team7)
 - ★一般社団法人 千葉県地産地消会
 - ★公益社団法人 印旛市医師会 白井地区医師会
 - ★特定非営利活動法人(NPO)首都圏防災士連絡会
 - ★東日本電信電話株式会社 千葉支店
 - ★東京電力パワーグリッド株式会社 千葉支店
 - ★千葉二重コム自動車販売㈱千葉ニュータウン店
 - ★千葉県LPガス協会 給債支部
 - ★京葉ガス株式会社
 - ★日本郵便㈱白井郵便局
 - ★純ネクセライズ
 - ★大月工業㈱
 - ★純ネクスト
 - ★純ドコモCS 千葉支店
 - ★ソフトバンク㈱
 - ★JJA印旛振興協同組合
 - ★岡山屋食品 千葉支店
 - ★生活協同組合コープみらい 千葉本部
 - ★社会福祉法人 白井市社会福祉協議会
 - ★日本赤十字社千葉支部 白井市赤十字学生団
 - ★純伊藤園 八千代支店
 - ★グッドドリンコ千葉オフィス
 - ★コカ・コーラボトラーズジャパン㈱千葉中央支店
 - ★大塚製薬㈱千葉出張所
 - ★大塚食品㈱千葉
 - ★延命寺
 - ★白井第二小学校区：平塚西区自治会・中区
 - ★白井第二小学校区：みどりの星づくり協議会
 - ★白井中学校、白井第一小学校、白井第二小学校

令和6年度 白井市 総合防災訓練

日時 2月2日(日)
午前9時00分~12時30分

会場 白井総合公園

主催
白井市

1.3 訓練の評価・課題等

(1) 目的の達成度及び次回訓練への反映等

ア 初めての大規模（約800人が参加）かつ実践的な総合防災訓練を、白井市と38の防災関係機関・団体及び地域と連携した災害応急対策訓練（発生～復旧）を行い、災害対応能力の向上・強化と顔の見える関係構築に資することができた。

しかしながら、市として全庁体制での対応要領、各機関（リエゾン含む）との連携要領、災害医療活動の具体化などの課題や、各種アンケートからの課題・改善案もあり、課題の解消検討等を行い次の訓練へ反映する必要がある。

イ 今回の天候の中、約450人の市民が参加していただいたことは、防災意識の高揚と減災への備えを図る機会となった。特に、参加者からは自由に体験・見学ができる防災啓発の場と実動訓練を見ることができて良かったとの声が多かった。

しかしながら、天候の影響もあるが市民の参加者数が目標に達することができなかった。

次年度は、特に防災に興味を示さない住民に対する訓練告知を検討して、参加者の増加に工夫を凝らす必要がある。

ウ 訓練告知として、ポスター・チラシの作成・掲示・配布、広報、しろいメール配信サービス、公式SNS、防災講話での案内や、全市民を対象としたシェイクアウト訓練、家庭の地震対策自己診断を実施したことにより防災意識の向上につながったと史料する。

(2) 総合防災訓練の検証

今回の防災訓練は、防災対策の充実・強化（検証）と住民の防災意識の高揚が目的であり、白井市地域防災計画への反映と事後の訓練等に資するため検証する。

8つの基本方針について検証した結果は次のとおりである。

① 「白井市災害対策本部事務分掌」に基づく組織体制の機能確認、評価等を実施し実効性を検証する。

・災害対策本部の訓練については、事務分掌に基づき実際の災害発生時に処置すべき事項を検証したが、次々としてくる被害状況、災害対応状況について、迅速に処理するための記入フォーム作成などの改善点があり検討する必要がある。

・また、今回の訓練で各自の役割を再認識し、今後訓練を重ね対応力の強化を図る必要がある。

② 災害時における関係機関・団体等との適切な役割分担と相互連携した実効性ある訓練を実施し連携強化を図る。

・災害発生時の、自衛隊・警察・消防・ライフライン関係（東京電力・NTTなど）との連絡調整、特に災害対策本部への各リエゾン派遣の重要性を再認識したところである。また、訓練当日及び事前の調整会議で顔をあわせることにより各機関の連携強化を図ることができた。

・次回以降の訓練では、県リエゾンを含め各機関のリエゾンを災害対策本部に派遣しての訓練実施を検討する。

③ 地域防災計画の脆弱点や課題の発見に重点を置き、地域防災計画の継続的な改善を図る。

・行政や関係機関が、災害時の自らの役割を認識する機会となった。それに伴い、地域防災計画の事務分掌などにおいて課題が出てきており、今回の訓練のアンケート結果を参考に、今後は継続的に地域防災計画の改善を図る必要がある。

④ 住民一人一人が「自らの命は自らが守る【自助】」意識を持ち、日常及び災害時に「自らが何をすべきか」を考え災害に対して十分な準備（備え）ができるよう、住民の防災意識の高揚と知識の向上を図る機会とすること。

・関係機関による防災啓発や、地震体験車、水消火器などの防災体験啓発に多くの住民の参加があり、全ての訓練をとおして、防災意識の高揚と知識の向上を図ることができた。また、シェイクアウト訓練を市全域で実施し、今回の対象地域である白井第二小学校区以外の住民の防災意識の高揚も図ることができた。

⑤ 行政機関、民間企業等の防災担当者の災害対応力のため検証・評価する機会とすること。

- 訓練の問題点や実際の災害に備えての共同訓練の必要性などの声が寄せられており、参加関係機関等の防災担当者の災害対応を検証する場となった。
- 今後は、今回の訓練のアンケート結果を参考に各種改善を図る。

⑥ 実践的、効果的な訓練内容とすること。

- 38の関係機関が参加する防災訓練は、白井市では今までにない規模での開催となった。
- 2月大寒時期の小雨(1~2mm/h)・低温(3~4℃)環境での訓練で関係機関からも、災害活動の難しさを実感したとの声も寄せられており、効果的な訓練になったと思料する。
- 冬の大寒時期・夏の猛暑時期における災害応急対応行動や避難所生活環境改善をしっかりと検討して地域防災計画へ反映するとともに、備蓄や災害協定等を早期に推進する責務がある。
- 実践的、効果的訓練内容を検討して、継続して実施していく必要がある。

⑦ 男女共同参画、要配慮者の視点に立った訓練を行うこと。

- 今回の訓練参加者のうち約40パーセントが女性であり、男女を問わず参加者への防災意識の高揚は図れたと思う。今後の防災活動への参加を期待する。
- 要配慮者については、見学テント(手話通訳)を設置したが、会場に要配慮者の駐車スペースを確保できなかったなど、配慮が十分ではなかった。次回以降は、そういった配慮も必要である。

⑧ 防災教育事業の一環として地域の中学生を参加させ、地域防災の中核となる人材育成と学生ボランティア活動の推進を図る。

- 今回、白井中学校の生徒約30名が、自衛隊車両等による避難者輸送訓練、アルファ化米の作成などの炊き出し訓練、地域自治会の人命救助訓練及びVR体験に参加した。また、その他の体験啓発訓練等にも中学生が積極的に参加する姿が見られた。
- 訓練感想の内容からも、中学生に対する防災啓発が図れたと思われる。
今回は小学生の参加が少なかったが、来年以降は小学生の積極的な参加についても調整する必要がある。

(3) 市防災対策の方向性

- 人口約63,000人の自治体として広範な参加者を得た訓練を行い、子供から老人まで100%参加という高い理想の実現に向けて、さらに努力を進めていく必要がある。
- 関係機関の被災対応装備機能等について一般市民にも理解できるわかりやすい解説を行い、行政の災害対応に対して自助の必要性を訴えていく訓練の継続が重要である。
- 災害発生時に通常の通信手段が使用できなくなった場合の関係機関等と情報共有や円滑な情報伝達をどのように行うか関係機関等と検討チームを組織して継続検討し防災訓練等を通してより良い方策を講じていく必要がある。
また、関係機関・団体への緊急用通信媒体の確保と、緊急時の対応が可能となるよう、今後計画的にその整備を図っていく必要もある。
- 冬の大寒時期・夏の猛暑時期における災害応急対応行動や避難所生活環境改善をしっかりと検討して、地域防災計画へ反映するとともに、事務分掌に基づき備蓄や災害協定等を早期に推進する必要がある。